



ズームイン英国

(マーケット情報版)

EUサミットは英国の要求通り、ひとまず安心

2月18-19日にブリュッセルで開かれたEU(欧州連合)首脳会議では、EU離脱問題を抱える英国のキャメロン首相が提唱していたEU改革案が全会一致で合意されました。

EU改革案は大きく4項目に分かれ、①非ユーロ圏加盟国の権利保護、②移民への福祉制限、③加盟国の主権保護、④規制緩和によるEUの競争力強化、です。特に、非ユーロ圏諸国がユーロ圏諸国の事情で財政負担を強いられることがないようにすること、EU全体で問題となっている難民流入に鑑みて、移民急増に対する緊急措置など、EU加盟国の主権、権限を尊重、拡大させようという主張が全面的に受け入れられる形となりました。

◇EU改革のポイント

改革の項目	合意した内容
ユーロ圏と非ユーロ圏との関係	ユーロ圏維持のための政策で、非ユーロ圏に負担が生じないようにする
移民への福祉制限	移民流入急増時に、社会保障給付制限等の緊急措置を最長7年導入可能に
加盟国の主権尊重	反対が多いEU法案を各国議会の協働で拒否できるようにする
EUの競争力強化	規制緩和の進展を定期的にチェックする

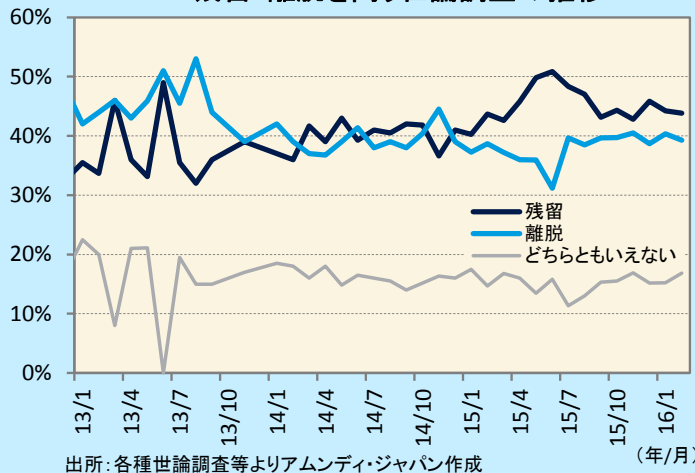
出所:各種報道よりアムンディ・ジャパン作成

EU残留のデメリット減少で現状の英ポンドは割安?

6月23日にEU残留、離脱を問う国民投票が実施される予定です。複数の世論調査を総合すると、現在は残留派が多数です。ただし、15%程度ある保留層の取り込みがカギであり、まだ波乱含みであることは否定できません。

しかし、EU首脳会議で英国の主張が認められたことは、キャメロン首相の外交的成功を意味し、政権の安定化につながると考えられます。また、少なくともEU残留のデメリットは減少したことにもなります。したがって、現状の英ポンドには割安感があり、それだけ投資の妙味が相対的に高まったことを意味すると思われれます。

EU残留・離脱を問う世論調査の推移



EU首脳会議で英国の主張が通ったこと自体が英ポンド投資の妙味向上につながりそうですね。



投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託の購入時: 申込手数料

投資信託の換金時: 換金(解約)手数料、信託財産留保額

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。間接的負担には、その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等が含まれます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の費用がかかることがあります。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。